

平成 30 年度スポーツ庁委託事業
「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
全国セミナー（第二回）

主催：筑波大学・日本体育大学・早稲田大学

日時：2018 年 7 月 25 日（水）14：00～17：15（受付：13：30～）

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎 119（116・117）

本セミナーでは、平成 30 年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」の開始にあたり、本事業の概要やオリンピック・パラリンピック教育に関する具体的な実践例の紹介、関係団体の事業と関連する教材等に関する情報を共有し、各地域拠点における効果的な事業推進に向けた意見交換を行いました。

【プログラム】

開会あいさつ

スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課 課長 勝又正秀

事業概要説明

筑波大学体育系 教授 真田久

各学校段階におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践例について

筑波大学体育系 助教 大林太朗

日本体育大学 特別研究員 秋和真澄

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 研究員 岡田悠佑

関係団体事業および教材等について

東京 2020 組織委員会 アクション&レガシー担当課長（教育担当） 塩見絢子

東京都教育庁 指導部 指導企画課 指導主事 小宮山詠美

日本財団パラリンピックサポートセンター 推進戦略部 プロジェクトリーダー 山本恵理

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局 参事官補佐 栗田信行

WOWOW 制作局 制作部 「WHO I AM」 チーフプロデューサー 太田慎也

（休憩・移動）

全国中核拠点（担当大学）と各地域拠点の打ち合わせ

116：早稲田大学＋担当地域拠点

117：日本体育大学＋担当地域拠点

119：筑波大学＋担当地域拠点

【プログラム詳細】

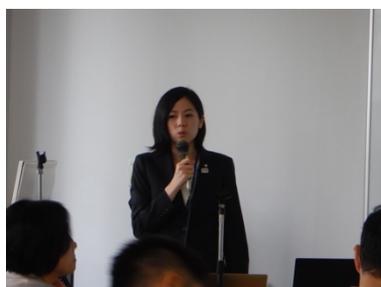
➤ 事業概要説明

筑波大学の真田 久教授より、本事業の趣旨・目的、オリンピック・パラリンピック教育の歴史や意義について説明がなされた。



➤ 各学校段階におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践例について

筑波大学、日本体育大学、早稲田大学より、各担当地域拠点の特徴的な実践例の紹介がなされた。



➤ 関係団体事業および教材等について

東京 2020 組織委員会より、東京 2020 教育プログラム（ようい、ドン！）の展開や、教材や情報の取得方法について説明がなされた。また、マスコットや、大会ボランティアについての周知がなされた。

東京都教育庁より、東京都におけるオリンピック・パラリンピック教育の取組概要、東京都公立学校パラスポーツ交流大会、教員研修会、パラスポーツ指導者講習会について説明がなされた。

日本財団パラリンピックサポートセンターより、国際パラリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」について説明がなされた。

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局より、東京大会を契機とする共生社会の実現に向けた「心のバリアフリー」のアニメーション教材について説明がなされた。

WOWOW より、パラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ「WHO I AM」の説明がなされた。



➤ 全国中核拠点（担当大学）と各地域拠点の打ち合わせ

各地域拠点とその担当大学に分かれ、より具体的な打ち合わせが行われた。

筑波大学 + 宮城県、和歌山県、愛媛県

日本体育大学 + 千葉県、神戸市、大分県

早稲田大学 + 岩手県、岐阜県、静岡市、広島県、熊本県

